

平成26年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	大河津可動堰改築事業竣工式・見学会	事業経緯	継 続	実施体制	共 催	担当所属	長岡支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業		事業区分	体験活動等	

1. 事業目的

信濃川大河津分水路の基幹施設として昭和6年に完成した旧可動堰は、老朽化が著しくなったことなどから改築事業が進められ、新たな可動堰は平成23年に通水した。その後、管理橋の全線架橋等が行われ事業は竣工した。
そこで、事業への協力に感謝の意を示すとともに、越後平野を永きにわたり潤し守り続けてきた歴史的建造物である旧可動堰の見学会や改築事業の進捗状況の説明等を通じ、土木技術や大河津分水の役割、地域の安全性の向上等についてより一層理解を深めてもらうことを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主 催：国土交通省北陸地方整備局、
大河津分水改修促進期成同盟会
(新潟市、長岡市、三条市、燕市、加茂市、田上町、弥彦村)
共 催：国土交通省信濃川河川事務所、(一社)北陸地域づくり協会、
NPO法人信濃川大河津資料館友の会

3. 事業実施概要

日 時：平成26年6月29日(日) 10:00～11:00
場 所：大河津可動堰周辺
対 象：事業関係者、一般住民
竣工式概要：挨拶、祝辞、事業報告、管理橋親柱除幕 等
関連行事：分水太鼓の演奏、よさこい演舞、地元保育園児による稚魚放流、
管理橋渡橋、旧可動堰見学会
竣工式列席者：約200名

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

竣工式および見学会の開催、また事前事後に多くの報道がなされたことなどを通じ、信濃川の治水の根幹である大河津分水路の存在意義が広く共有された。また、大河津分水の役割そのものへの認識の深化、今後の抜本改修への啓発を図ることができた。



挨拶(中原大臣政務官)



管理橋親柱除幕



関連行事

